

# 4学年 国語科 授業計画

広島市立 石内小学校

## 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

## 評価の観点

- ・国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。
- ・相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。
- ・相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。
- ・目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。

## 評価の方法

学習態度 ノート 音読 テスト 作品 発表 プリント 情報収集

## 学期ごとの学習内容と学習のポイント

|        | 学習のすること  | 学習のポイント  |
|--------|--|--|
| 前<br>期 | こわれた千の楽器<br>(詩)ふしぎ/よかったなあ<br>知らせたい、<br>あんなことこんなこと<br>お礼の手紙を書こう<br>ヤドカリとイソギンチャク<br>ローマ字<br>夏の忘れもの<br>自分新聞を作ろう<br>ぐらしの百科の時間です<br>ローマ字<br>毛筆(羊・麦) | ・物語や詩を読んで場面の様子や人物の気持ちを想像し、想像したことが聞き手に伝わるように音読する。<br>・必要なことを落とさずに、身の回りのことを紹介するスピーチをする。<br>・相手に気持ちがわかるように書く。<br>・段落と段落の関係を考えて文章を正しく読みとり表現する。<br>・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、書き表し方を理解する。<br>・大切だと思ふ文に注意し、物語の盛り上がりについて考える。<br>・伝えたいことを分りやすく記事に書く。<br>・「生活のくふう」について調べ、すじ道を立てて説明する。<br>・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、書き表し方を理解する。 |
| 後<br>期 | 世界一美しいボクの村<br>ウミガメのはまを守る<br>活動報告を書こう<br>毛筆(左右・土地・わし)<br>ぐらしの中の和と洋<br>ごんぎつね<br>1年間の思い出を紹介しよう<br>ローマ字<br>毛筆(天空・晴れた空・切手)                          | ・愛の心を描いた本を読み、読書カードに記録して紹介し合う。<br>・「かんきょうを守るくふう」について情報を収集し、事柄のまとまりをとらえて文章を書く。<br>・中心をはっきりさせて書く。<br>・くらべていることに気を付けて、書かれていることを読み取る。<br>・場面の移り変わりや人物の気持ちの変化をとらえて、強く心に残ったことを発表する。<br>・伝えたい事を選んで書く。<br>・ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、書き表し方を理解する。  |

